



巻頭特集

CLIL で子どもの知能の特性を活かした教育を！ ～子どもの知的好奇心をくすぐる授業の実践を目指して～

大木 俊英 (白鷗大学 教育学部 准教授)

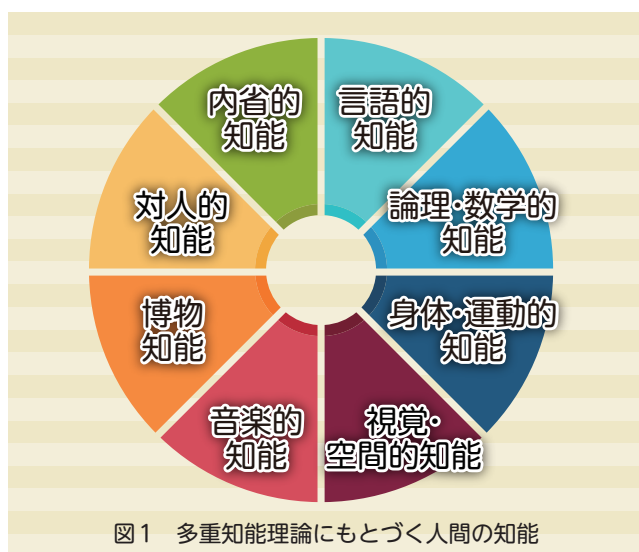
私のゼミでは「学童クラブ訪問」という活動を行っています。これは、学生と考えた英語の活動を、大学近隣の学童クラブの子どもたちと一緒に行うというものです。訪問先で実際に活動を指揮するのは教育実習に参加する直前の大学3年生たちです。子どもの正直な反応が見られるため、学生にとって、子どもに魅力的な活動を考える良い練習になっているようです。訪問を通して、私自身もそのような活動の特徴がいくつかわかってきたのですが、その1つが最近注目を浴びている「CLIL (クリル)」です。本稿ではCLILに関する理論的枠組みを説明し、実際に学童クラブ訪問で行った活動を紹介したいと思います。

1. CLIL とは？

CLILはContent and Language Integrated Learningの略で「内容言語統合型学習」などと訳されます。ここでいう「内容」は外国語以外の教科の内容を指しますが、簡単に言うと、外国語と他教科の学習を組み合わせた学習(や指導)のアプローチのことです。似たものに「内容中心言語教授法(Content-Based Language Teaching ; CBLT)」や「イマージョン(immersion)」などがありますが、これらの違いは言語と教科の学習どちらにより重きが置かれているかです(Dale & Tanner, 2012)。CBLTでは言語の学習に、イマージョンでは教科の学習に重きが置かれており、CLILは両者の中間に位置します。しかしこれらの教授法の境界は明確でないため、私は外国語と教科の学習を組み合わせた指導法を総称して「CLIL的アプローチ」と呼ぶことにしています。

外国語を学ぶだけでも難しいのに、そこに教科の学習まで取り入れるのは学習者にとって負担なのではないかと懸念される方もいると思います。しかし、次に述べる人間の知能の特性を考えると、CLILはとても有効な学習法だと言えます。

1980～90年代、米国の心理学者Howard GardnerはIQによる知能の測定に異を唱え、人間には8種類の知能(図1)があるとする「多重知能理論(The Theory of Multiple Intelligences)」を提唱しました(林, 2011)。この理論を外国語教育に応用すると、外国語は苦手だが運動が得意な子に身体動作を取り入れた指導を施すことで、言語的知能の不足を補えたり、学習意欲を維持できたりする可能性があります。



このような教科横断的な外国語指導は小中学校の新しい学習指導要領でも推奨されています(「3 指導計画の作成と内容の取扱い」参照)。解説によれば、このような指導によって期待される効果は、学習に対する意欲や主体性の向上だといいます。また、外国語と教科それぞれの学習目標を掲げることで学びが重層的となり、「深い学び」につながる可能性もあります。

CLILとはどのような学習法なのでしょうか。次ではCLILの理論的な枠組みについて説明したいと思います。

2. CLILの理論的枠組み：4つのC

CLILについて語られるときしばしば耳にするのが「4つのC」という言葉です。CLILの根幹をなす要素のことで、渡部ら(2011)によればこの枠組みの存在が、CLILをCBLTなど他の類似した教授法と区別しているといいます。渡部らの解説をもとにそれぞれ説明します。

1つ目は「Content (内容)」で、CLILを通して教科に関する知識や学習スキルが身につくかどうかを指します。2つ目は「Communication (言語)」で、教科学習のツールとして外国語を使う機会があり、またそれによって外国語の能力が向上するかを指します。3つ目は「Cognition (思考)」で、学習者が思考する機会があるかどうかを指します。4つ目は「Community / Culture (協学/文化)」で、教室や地域といった、大小さまざまなレベルのコミュニティ内の他者と交流したり、異文化について学んだりする機会があるかどうかを指します。

これらのうち、私は「Cognition」が子どもの興味を高めるうえで最も大事な要素だと考えています。小学校の学習指導要領では身近な人や身の回りの物に関する簡単な語句や表現を扱うことになっているため、ともすると「Apple! Melon!」のように、すでにカタカナ語で知っている単語を繰り返して終わってしまう可能性があります。これでは飽きてしまいますし、学びが深まりません。

次に紹介する活動はゼミ生が考えたCLILの活動で、2018年の学童クラブ訪問で実際に行ったものです。磁石の性質に子どもたちが気付けるよう工夫を施しました。自然に関係する内容であるため、多重知能理論の枠組みで言うと「博物的知能」を活かした活動にあたります。簡単に手順を紹介します。

3. 学童クラブ訪問での実践例：磁石の性質

平成29年版の小学校学習指導要領の理科編(第3学年)「2 内容 A 物質・エネルギー (4)磁石の性質」のなかに「磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があること。また、磁石に近付けると磁石になる物があること。」という項目があります。この項目の学習と、英語での色の言い方(red, blue, purple, white, pink, greenなど10色)の学習を組み合わせで行いました。行った活動は次の3つです。

はじめに、色カードを使って色の言い方を確認します。色の言い方はみんな知っているのですが、発音が「レッド! オレンジ!」のようにカタカナなので、英語らしい発音で言えるように意識付けを行います。

PROFILE

大木 俊英 おおき としひで (白鷗大学教育学部 准教授)

栃木県出身。福島大学教育学部中学校英語科卒業、米国オハイオ州Findlay大学大学院MA in TESOL修了、筑波大学大学院教育研究科英語教育コース修了。公立中学校教員、白鷗大学足利高等学校英語科教諭、白鷗大学経営学部非常勤講師を経て、現職。高校教員時代は文部科学省の指定を受けSELHi事業にも携わった。専門は応用言語学で、これまでシャドーイングにおける音声認知の研究などを行ってきたが、近年は児童英語教育に関心を持ち、ゼミで学童クラブ訪問の活動を行っている。

次に、4人前後のグループを作り、各グループに様々な色の魚のカード(図2)を配って床に並べさせます。実はこの魚カードの裏には鉄や銅、アルミなどの金属片が貼り付けてあるのですが(実験用の金属板セットをインターネットで購入しました)、子どもには内緒にしておきます。磁石に反応する金属と、反応しない金属がある点がミソです。



図2 魚カード(裏に様々な金属片)

糸の先端に磁石がついた釣り竿のようなものを各グループに1本ずつ配り、「Fishing Gameをするよ」と宣言します。学生の1人がさっき練習した色を1つずつ言っていき、子どもたちはその都度復唱します。学生が「Go fish!」と言ったら、竿を持っている子どもはその直前に言った色の魚を釣ります。制限時間内に釣り上げることができたチームはポイントがもらえるのですが、貼り付けてある金属片によっては釣り上げることができないので、子どもたちは徐々にヒートアップしていきます。そして釣れる魚と釣れない魚が混ざっていることに気づき始めます。そのタイミングを見計らって次の活動に移ります。

最後に子どもたちを集め、釣れる魚と釣れない魚にどのような違いがあるか尋ねます。金属片の違いが

あることに気づかせたら、アルミ缶やクリップなど身近な金属製品に磁石を近づけ「Do they stick together?」と英語で尋ねていきます。最初はこの質問の意味を子どもたちは理解できませんが、実際にくっつけてみせて「Yes, they stick together.」と学生が言うと意味を推測し、質問をしなくても子どもたちから自発的に「Yes!」「No!」と答えるようになります。最後に「磁石に近づけると磁石になる物があること。」の理解のために、ハサミを取り出して磁石をくっつけ、クリップがハサミの先端につくかどうか予想させます。クリップがハサミにくっつくのを見せると子どもたちからは「お〜っ」という声が上がります。

この単元の配当学年は3年ですが、1・2年生もちゃんと磁石の性質に気づいていました。魚カードの準備が大変なので、英語で指示を出しながら子どもに作らせてもよいと思います。ぜひ試してみてください。



図3 実演を通して磁石の性質に気づかせる場面

【引用・参考文献】

- ・ Dale, L., & Tanner, R. (2012). CLIL activities: A resource for subject and language teachers. Cambridge: Cambridge University Press.
- ・ 林桂子(2011)『MI理論を応用した新英語指導法』東京:くろしお出版
- ・ 渡部良典・池田真・和泉伸一(2011)『CLIL内容言語統合型学習:上智大学外国語教育の新たな挑戦』東京:上智大学出版
- ・ 文部科学省(2017)『学習指導要領』

組織で取り組む英語指導

～教員と子ども達がともに楽しく活動できる英語教育を目指して～

山形県川西町英語教育推進委員会

1. はじめに

“お疲れ様です。第26回の指導者用動画を配信します。URLは、6年Lesson13の1時間目 <http://www.youtube.com/○○○>です。英語動画スタッフをクリックすると動画が流れ始め、授業の大まかな流れや活動のポイント、ALTとのやり取りの例が次々に流れ始めます。10数分の動画を見終わると、授業のイメージが湧いてきます。「ここだけは明日、ALTと打合せして授業に臨もう。」と、授業前に欠かせない打合せ時間の短縮化につながっています。

川西町英語教育推進委員会では、担任とALTや専科教員による授業準備や打合せの効率化と、子ども達に確かな英語の力が身につくことを目指した取組を行っています。その内容を紹介します。

2. 英語教育推進委員会について

これまで町では、学力向上対策の一環として各校代表による研修視察を行ってきました。福島県磐梯町や秋田県由利本荘市、山形県内の他市町の取組から、外国語活動に関して先進的な実践を学ばせていただき、英語教育に関して川西町の課題意識が高まりました。新学習指導要領や移行措置の内容にどのように対応していくか、課題も多いことが明らかになってきました。

そこで、平成29年度当初に英語教育推進委員会を立ち上げ、外国語活動・外国語科の指導内容、指導方法の原案作成(年間単元計画、レッスンプラン)、ICTの活用、ALTの活用、小中の連携およびCAN-DOリストの作成等に関することについて研究を進めることにしました。また、山形大学の金子淳准教授による指

導助言をもとに、内容を深め、実効性のある取組を進めることにしました。

川西町の子ども達は、6つの小学校から1つの中学校に進学します。各小学校のバラバラな授業は、中学校進学後の子ども達の戸惑いにつながるため、推進委員会が中心となってマネジメントし、英語教育がスムーズに積み上げできることを目指して活動してきました。

3. ICT 活用について

平成29年度は、各校の5、6年生の外国語活動の授業を展開しながら、課題に対応してきました。中でも、ICT (Skype) を活用して町内のすべての小学校をつなぎ、短時間学習に取り組んだことは、子ども達の英語に対する興味関心の向上につながりました。また、担任が、英語教育推進リーダーと子ども達のやり取りを見る機会にもなり、指導方法の理解を深めることにつながりました。

他方、担任とALTあるいは専科教員の打合せが十分できていないことが判明しました。これでは、推進委員会が作成した移行措置に対応したレッスンプランだけでなく、担任、ALTや専科教員の力を効果的に発揮できないことにもなります。

そこで、授業のポイントや活動の内容、ALTや専科教員とのやり取りの例を動画にして、紙面のプランをより深く教員に伝えるために、指導者用の動画の作成と配信を行うことにしました。YouTubeの限定公開機能を使い、配信を希望した関係者に、視聴用のアドレスをメールで配信しました。これにより、教員の都合に合わせて教材研究を進めることができるようになりました。さらに、授業当日は短時間で効果的な打合せ

PROFILE

川西町英語教育推進委員会 かわにしまちえいごきょういくすいしんいんかい

平成29年度は、町内から担当校長1名、担当教頭1名、各小中学校の教員7名、英語教育推進リーダー1名でスタートしました。平成30年度は英語専科教員、ICT活用担当者各1名が加わっています。毎月1回の会議を通して授業の内容や、移行措置に関する情報を共有し、年間指導計画やレッスンプラン等の作成とその実践を行っています。

が行われ、授業の内容を共有することができ、担任の指導力向上だけでなく、クラスの状況に応じた指導にもつながりました。



4. ALT(外国語指導員)について

平成29年度までは、1名のALTが、町内全ての小中学校、幼児施設をまわり、英語に係る授業や活動に入っていました。ALTが中心となって授業が進んでいましたが、新学習指導要領の実施に伴い、担任主導の授業に変換していくことが重要になります。そのためには、ALTと担任が細かな内容まで打合せを行う必要があります。しかし、小学校の担任は必ずしも英語が堪能ではなく、言葉の壁が大きな課題の1つです。

平成30年度には新たに、町内在住で日本語が堪能であり、教員とのコミュニケーションを深めることもできるALTを町が直接雇用できたことにより、2名で各小中学校、幼児施設をカバーしています。その結果、授業の打合せがスムーズに進み、ポイントを押さえた

授業ができるようになりました。さらに、指導者用動画の企画と撮影においても力を発揮しています。

5. おわりに

英語の授業実践を通して、推進委員だけでなく、担任の英語の指導力向上につながっています。さらに、各小学校に1人以上の中学校二種免許状(英語)取得者が在籍するよう、大学での免許法認定講習を受講しています。推進委員や英語の指導力を高めた教員が、ALTや専科教員と協力して授業をスムーズに展開し、川西町の子どもの英語の力が高まっていくことを目指しています。

平成31年度の移行措置への対応、新しい指導内容、そして特に中学校との接続等多くの課題がありますが、推進委員会が中心となって組織で対応し、担任の不安を解消することや、英語好きの子どもが一人でも多くなるように、今後も取組を続けていきたいと思えます。



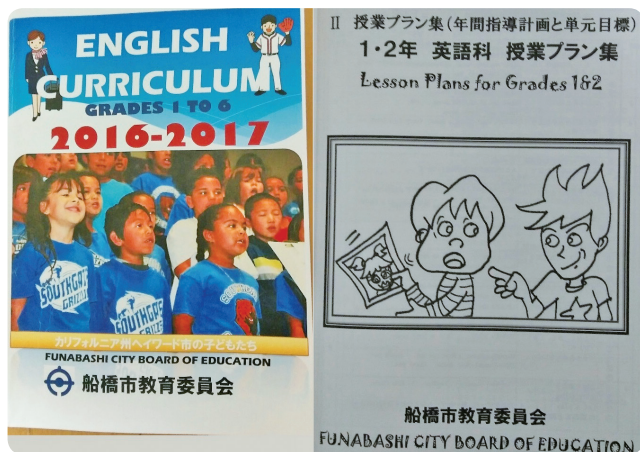
子どもたちの未来が輝く英語教育

～英語教育をされる小学校の先生方へのメッセージ～

酒井 美恵子 (船橋市教育委員会非常勤講師、小学校英語指導コーディネーター)

1. 船橋市の本格的な小学校英語教育開始

平成30年現在、船橋市は人口63万人の中核都市となり54校の小学校があります。平成18年3月の「英語教育特区」認定に合わせ教育委員会では市独自のカリキュラムを作成し、JC (Japanese Coordinator) 制度を置き、地域の人材を募りました。また、各小学校にALTを常勤。平成20年度より市内の全小学校を文部科学省の教育課程特例校に指定。以来小学校1年生から6年生まで全学年を対象に英語教育が実施されました。これ以前も中、高学年の英語教育は内容なども各小学校任意で実行されていましたが、このようにすべて整えられて開始されたのは画期的でした。



2. 市独自のカリキュラムと JC 制度

市の“ENGLISH CURRICULUM”はとてもユニークです。小学校6年間で1・2年、3・4年、5・6年の3段階に分けて構成し、2年間同じ単元の語彙や表現を学びます。2年目は既習内容なので初年度より少

し変化を加えレベルアップしたプランにし、ここで他教科を取り入れることも容易です。授業時間の配分もユニークで、低・中学年は20分授業(2020年より45分)、高学年は45分、それに加え高学年は2018年より20分プラスで週1.5時間の授業になりました。低・中学年の20分授業はとて短く感じられるかもしれませんが、これまでの経験から20分に行われる内容は充実し、密度が濃くなりますし、児童の集中力も最大限に発揮されます。それに初年度で初めて触れた英語を次年度でもう一度触れることは児童の認識力に大きな効果があり、2年目は安心して学べることは自信にも繋がります。

毎週少しずつでも続けることは、小学校英語教育の目標でもある「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」や「外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ」ことへの大きな成果につながっています。日常、ほぼ何の抵抗もなく外国人に英語であいさつができていく風景は素晴らしいです。JCも常勤ですが、JCにより1校または2校を受け持ち隔週勤務しALTと共に授業に出ます。JCの役割の一つでもある教案作りは全学年分作成し、各学年の先生方と打ち合わせをします。ALTとの打ち合わせも毎回必須です。T1は担任、ALTとT1がスムーズにチームティーチングができるよう授業をサポートするのがJCの大事な役割です。そしてJCは人と人のコミュニケーションを繋ぐ能力が必要とされます。

PROFILE

酒井 美恵子 さかい みえこ (船橋市教育委員会非常勤講師・小学校英語指導コーディネーター)

全研ミネルパで子供英語講師8年。自宅塾開始。日本語教師養成講座420時間修了後、国際交流協会に所属。日本語教室20年、外国人相談窓口10年間担当。国際交流親善ボランティア功労賞受賞。J-SHINE「小学校英語上級指導者資格」取得。文化庁のCan do講座修了。2007年より船橋市小学校英語に携わり12年目。また公益財団法人五井平和財団(国連・ユネスコと共同事業)2000年より国際ユース作文コンテストで文部科学大臣賞最優秀受賞者達の日本滞在中アテンド担当。

3. 授業が生きる！

2020年の教科化実施に伴い、日本全土の教育委員会はいろいろな取り組みを試行錯誤されていることと思います。教科にはなるものの誰がいつどんな風に教えるのか、また今の教員の時間の余裕や仕事量をもう一度見直して押し付けることなく最善の方法で実施されることを願っていますが、いざ教える立場となると先生方の戸惑いは隠せません。この11年間の小学校英語は教材の開発と制作でほとんどの勤務時間を要していました。プランを立て、教材を考えそれを作成する…この時間は小学校英語教育にとって最も重要な要素です。たった5分のゲームにしてもその何十倍もの準備時間がかかったりします。一冊の本とDVDで小学校英語は成り立ちません。良い授業をするためには特に教材が命です。教員が英語の授業をすることになるとしたら、英語力云々ではなく、そのような時間はとれるのが最大の問題です。良い教材を使った時の子どもたちの目の輝きと歓声は宝物です。

4. なぜ英語を学ぶのか？

市内在住の外国人に日本語を教えるための日本語教師養成講座受講終了日、教授の言葉が心に残り実行しました。“教える側に立つ人は、自分の未知の言語を少なくとも1年学んでみる”でした。そして実行！40代で神田外語大のフランス語科に入り、学生たちと1年半学びました。学生と違い、学ぶ目的が違うので楽しいし、とても勉強になった反面、自分が陥った反省点が出てきました。文型や語彙を覚えて試験もA+・・・でも会話ができません！日本人の陥りやすい点です。日本語も英語も“ことば”。意思の疎通ができて初めて活かされます。相手と気持ちが通じて学んだことが生きてきます。特に小学校英語！教える側の意識をそこにしっかり基盤として置き、いつもそれを意識して教案を立てないと、「聞く・読む・書く」の3つの技能に偏りやすくなります。そして、その3つはまた教える側が授業で容易にできてしまうのでとても陥りやすいのです。先に挙げた教材制作がそこに生きてきます。日本人の過去の英語教育のリバイバルとならないように「なぜ英語を学ぶのか？」教える側がそれをしっかり基本に置いてスタートしてほしいと切に願っています。



【引用・参考文献】
・文部科学省(2017)「学習指導要領」

2019

小学校英語フォーラム in 東京

～不安を解消！明日からの授業に役立つ英語教育！！～

開催のおしらせ!

日時 平成31年2月24日(日)
13:30～16:35(受付13:00～)

場所 東京国際フォーラム G607会議室



(アクセス)
JR線:有楽町駅より徒歩1分
地下鉄:有楽町駅より徒歩1分
(B1F地下コンコースにて連絡)

1 講演

「小学校英語の
指導の充実と評価」

鹿児島純心女子大学副学長・教授／
宮崎大学名誉教授 影浦 攻先生

2 講演・ワークショップ

「これまでの課題を
生かした、今後の小学校
英語指導のあり方」

国際教養大学准教授 町田智久先生

影浦 攻先生 (鹿児島純心女子大学副学長・教授／
宮崎大学名誉教授)

広島大学卒業。教諭(鹿児島中央高校、広島大学附属中・高校、鶴丸高校)の後、鹿児島県教育庁指導主事、文部省(当時)教科調査官、宮崎大学教授(その間、附属中学校長、附属小学校長を歴任)、鹿児島純心女子大学国際人間学部長を経て現職。

主な著書

「これならできる!!小学校英語ハンドブック」(啓林館)、「小学生のえいご Book1～3」(啓林館)、「新しい時代の小学校英語指導の原則」(明治図書)、「改訂英語科新授業の実践モデル20」(明治図書)、「小学校教師の基本教室英語96選」(明治図書)、他多数。

町田智久先生 (国際教養大学専門職大学院 准教授)

米国イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校大学院修士課程(英語教授法)及び、博士課程(初等教育)修了。博士(Ph.D.)。信州大学教育学部を卒業後、東京都の公立中学校において英語科教員を12年勤める。その間に、東京学芸大学大学院で修士号取得、さらに東京都教職員研修センターに勤務し、教員研修の実施に携わる。台東区立御徒町台東中学校に勤務した後、退職し留学。帰国後は秋田県にある国際教養大学で教鞭をとりながら、秋田県教育委員会をはじめ各自治体と連携し、教員研修等を実施。

主な著書

『小学校外国語教員研修用キット』(啓林館)、『Keirinkan Science Readers 1・2・3』(啓林館)『Explore Our World 指導案集』(センゲージラーニング)など。専門分野は小学校英語教育、外国語不安、教師教育。

2019小学校英語フォーラム in 東京参加申込書

申込締切 2/21(木)

資料代1,000円・申込制(定員100名 小中学校教員・教育委員会・教育関係者に限ります)

必要事項をご記入の上、下記申込先へ郵送・またはFAXをお願いします。

お申込日 月 日

ふりがな	ご勤務先/学校等	ご連絡先
お名前		電話番号

〈参加申込先〉 〒113-0023 文京区向丘2-3-10 TEL / 03-3814-6274 (直通) FAX / 03-3814-2159 啓林館 永野宛

編集・発行 啓林館東京本部 TEL(03)3814-5183(直通) デザイン・印刷 エイブル・株式会社スタジオヤマト・木野瀬印刷株式会社

教授用資料

Fun with ENGLISH 2019 冬号



http://www.shinko-keirin.co.jp

本社	〒543-0052	大阪市天王寺区大道4丁目3番25号	TEL(06)6779-1531
東京支社	〒113-0023	東京都文京区向丘2丁目3番10号	TEL(03)3814-2151
北海道支社	〒060-0062	札幌市中央区南二条西9丁目1番2号 サンケン札幌ビル1階	TEL(011)271-2022
東海支社	〒460-0002	名古屋市中区丸の内1丁目15番20号ie丸の内ビル1階	TEL(052)231-0125
広島支社	〒732-0052	広島市東区光町1丁目7番11号広島CDビル5階	TEL(082)261-7246
九州支社	〒810-0022	福岡市中央区薬院1丁目5番6号ハイヒルズビル5階	TEL(092)725-6677